

三鷹市立第四中学校 令和5年度【音楽】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○タブレットを使って一人一人の考えや意見を集約し、共有することができた。また、自主学習ができるよう、音源を載せるなど、タブレットを活用することができた。</p> <p>○発声法や楽典などの基本的なことを、できるだけ曲を通して学習し、表現につなげたいと考えていたが、継続的に行うことができなかった。</p>	<p>【現状】</p> <p>○歌うことが好きで声をしっかり出せる生徒が多い。</p> <p>○鑑賞においては、学んだことを生かしてどのような曲なのか、考えることができる。</p> <p>【課題】</p> <p>○ただ単に歌うだけではなく、どのような声かふさわしいのか考えさせる。</p> <p>○楽譜に書いてある記号などを理解し、表現につなげる。</p> <p>○鑑賞において、知覚と感受を結び付けて聴くことができるようにする。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○歌声を意識し、一人一人がしっかりと声を出せるような指導法の工夫</p> <p>○鑑賞においては、聴き取ったことと感じ取ったことを区別し、自分の言葉で表現できるようにする。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○タブレットで歌声を客観的にとらえたり、自主的に練習したりできるよう、活用する。また、ジャムボードやスライドを活用したり、フォームでの振り返りを行ったりして、それぞれの考えを共有できるようにする。</p> <p>○ノートやワークシートには、板書以外のメモや友達の見など気づいたことを書くよう促す。</p> <p>○発声指導において、音楽会に向けてパート別や個々に、直接指導やアドバイスをを行う。</p> <p>○鑑賞において、知覚と感受を分けて考えられるよう、授業展開やワークシートの工夫を行う。</p>
第2学年	<p>○タブレットを用いて、パート練習やグループ活動を行うことができた。また、タブレット内のアプリを使って簡単なリズム作りを行った。</p> <p>○ワークシートやアプリを使っての創作において、個別指導を行うことができた。ただ、継続的に行うことが難しくかったので、考え方などを身に付けるまでには至らなかった。</p>	<p>【現状】</p> <p>○どの領域においても、真面目に一生懸命取り組む生徒が多い。</p> <p>○男子は活発で声をしっかり出す生徒が多いが、女子は真面目でおとなしい生徒が多く、なかなか声が前に出てこない。</p> <p>○鑑賞においては、学んだことを生かして聴き取ることのできる生徒が多い。</p> <p>【課題】</p> <p>○パートのバランスを考えて合唱できるようにする。</p> <p>○楽譜に書いてあることを自ら読み取り、どのように表現すればよいか考えられるようにする。</p> <p>○鑑賞においては、その曲の特徴を捉え、音楽の要素と結びつけて、感じたことを自分の言葉で表現できるようにする。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○響きを意識した、基本的な発声の指導</p> <p>○楽譜に書いてあることを理解し、曲にふさわしい表現の工夫を考えることができる授業展開</p> <p>○鑑賞において、音楽の要素を捉えやすい教材の研究</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○タブレットで歌声を客観的にとらえたり、自主的に練習したりできるよう、活用する。</p> <p>○タブレットを用いて話し合い活動を行い、様々な考えを共有することで、自分の言葉で示す際の参考にさせる。</p> <p>○ノートやワークシートには、板書以外のメモや友達の見など気づいたことを書くよう促す。</p> <p>○音楽会に向けて、響きのある発声を目指し、パート別や個々に、直接指導やアドバイスをを行う。</p> <p>○基本的な楽典について、音楽会で演奏する曲と関連付けて理解したり覚えたりできるようにする。</p>
第3学年	<p>○表現活動、鑑賞それぞれにおいて、タブレットを用いてグループ活動や練習を行うことができた。様々な考えを共有することにより、参考になることが多かったようである。</p> <p>○発声法については、実技テストの振り返りにコメントを入れるなど、個々に応じてアドバイスをすることはできたが、直接指導するのはパート練習の場面が多くなってしまい、個別対応は難しかった。</p>	<p>【現状】</p> <p>○どの領域においても意欲的で積極的に取り組む。特に合唱においては、自分たちで練習の工夫をしたり意見交換をしたりして、より良い演奏を目指すことができる。</p> <p>○鑑賞において、曲を聴いてどのようなことを感じたかについては表現できるので、そこから自分の考えなどを引き出せるようにしたい。</p> <p>【課題】</p> <p>○曲想にふさわしい表現の工夫と技能（発声）の向上</p> <p>○曲を聴く際に、時代的背景や文化の違い、作曲者の意図など多面的、総合的にとらえて鑑賞する。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○曲にふさわしい歌声とはどのようなものか考え、響きのある発声を意識させる。</p> <p>○時代や国など、多種多様な曲に触れる機会を多くする。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○音楽会に向けて、タブレットで自分の声やクラスの演奏を客観的にとらえたり、自主練習したりできるよう、活用する。</p> <p>○ノートやワークシートには、板書以外のメモや友達の見など気づいたことを書くよう促す。</p> <p>○響きを意識し、基本的な発声を生身に付けられるよう、パート練習で指導やアドバイスをを行う。また、音楽会以降も継続的に歌唱活動を行う。</p> <p>○鑑賞において、ジャンルを問わず様々な時代や国の音楽に触れられるよう、授業計画を立てる。</p>